

令和7年2月21日

愛知教育大学記者懇談会加盟社 各位

身近な生きものに隠れていた新種 ヒガシニホンアマガエルが、  
愛教大と京大の共同チームにより明らかになる

## 【本件のポイント】

- 日本人に身近な「あまがえる」について、近畿地方を境界に東西2種に分けられることが判明しました。
- 西日本産は中国・朝鮮半島・ロシア産と同種であるのに対し、東日本産は樺太産と同種であることが明らかになりました。
- 大英博物館収蔵のニホンアマガエル基準標本の観察に基づき、西日本産が真のニホンアマガエルであることが突き止められ、東日本産を新種ヒガシニホンアマガエルとして記載することとしました。

## 【本文】

愛知教育大学と京都大学の共同チームは、日本列島および朝鮮半島産のニホンアマガエル標本の分子遺伝学的、形態学的解析をもとに、近畿地方を境界として東側と西側で種レベルの分化が見られることを明らかにしました。西日本産は中国・朝鮮半島・ロシア・モンゴルに見られる種と同種であるのに対し、東日本産は樺太南部に見られる種と同種と考えられます。両種の国内における境界は、福井県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、三重県を結ぶラインにあり、特に大阪府北部や和歌山県北部の境界線上には両種の交雑集団が存在することも明らかになりました。

ただし、交雑集団を越えた遺伝子流動は限定的で、遺伝的解析からはおそらく500万年以上前から遺伝的交流が妨げられてきたことが推測されます。東日本産のアマガエルと西日本産のアマガエルは形態的には極めてよく似ていますが、大腿部の模様異なる傾向があり、特に模様を全く欠く個体（図1左下）は、西日本産では多数を占めるのに対し、東日本産ではほぼ出現しません。

大英博物館に収蔵されている本種の基準標本（19世紀にF. シーボルトらが採集）を観察したところ、いずれも大腿に模様を欠いていたことから、西日本産の種が真のニホンアマガエルであることが突き止められました。このため筆者らは、東日本産の種を新種ヒガシニホンアマガエル *Dryophytes leopardus* として記載しました。新種小名の *leopardus* はヒョウのような模様を意味し、これは本種の大腿部にしばしば見られる斑点模様を表したものです。

アマガエル類は古くから日本人に馴染みの深い生きものであり、現代でも庭や公園など身近な環境にごく普通に見られる種です。このようによく知られた生物の中にも別種レベルの多様性が隠されていたことは注目に値します。東日本と西日本の生物相の違いがどのように成立したのかについてはさまざまな分類群で興味を持たれており、本種の分割もそのような議論に新たな検討材料を提供するものとなります。

本研究結果は、ニュージーランド時間の 2025 年 2 月 20 日 (木) 「Zootaxa」 オンライン版に掲載されました。

### <発表論文>

■ 論文タイトル : Genetic and morphological variation analyses of *Dryophytes japonicus* (Anura, Hylidae) with description of a new species from northeastern Japan

■ 著者 : 島田知彦<sup>1</sup>・\*・松井正文<sup>2</sup>・田中溪登<sup>1</sup>

<sup>1</sup>愛知教育大学 <sup>2</sup>京都大学名誉教授 \*責任著者

■ 掲載雑誌 : Zootaxa

### 【参考資料】

図 1 ニホンアマガエルとヒガシニホンアマガエルに見られる大腿模様の典型的な例。今回の発表論文から改変。



図 2 ニホンアマガエルとヒガシニホンアマガエルの分布。左は日本列島とその周辺域の分布図で、紫色がニホンアマガエル、緑色がヒガシニホンアマガエル。右は両種の境界となる近畿地方の分布図で、各プロットは遺伝的解析を行った地点。今回の発表論文から改変。

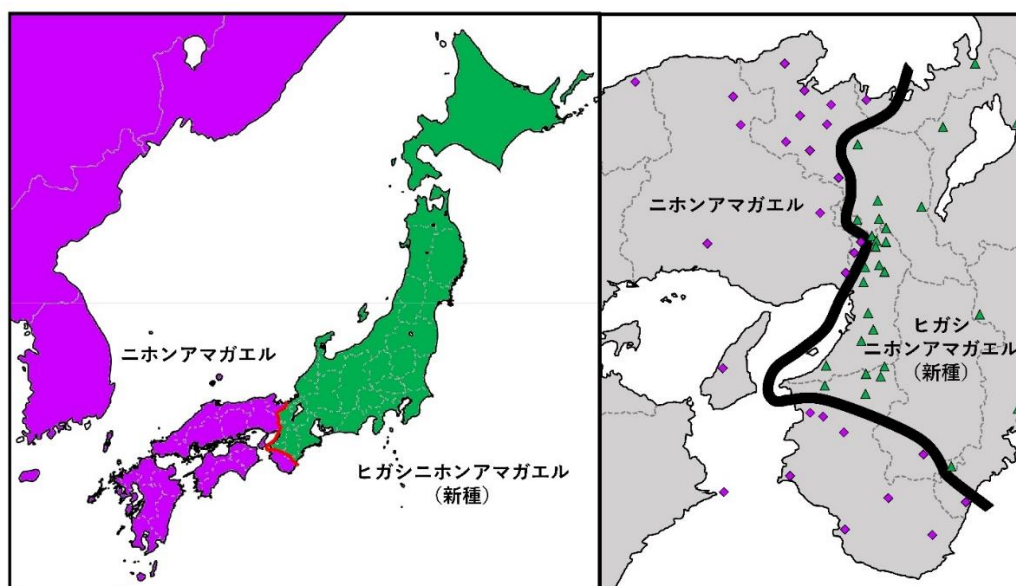


図3 ニホンアマガエルとヒガシニホンアマガエルの成体

ニホンアマガエル



ヒガシニホンアマガエル  
(新種)



---

問い合わせ先

愛知教育大学 理科教育講座  
准教授 島田 知彦

Tel: 0566-26-2364

E-mail: [tshimada@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:tshimada@aecc.aichi-edu.ac.jp)

発信元

愛知教育大学 総務・企画部  
広報課 広報係 加藤・向井

Tel: 0566-26-2738 Fax: 0566-26-2110

E-mail: [kouhou@m.aeccc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.aeccc.aichi-edu.ac.jp)